

岸田清実

議会報告

2017
10.15

岸田清実県政事務所
仙台市太白区長町1-7-9-401
TEL 248-8888 FAX 248-8633



9月定例県議会報告

9月定例県議会は9月1日召集され、29日まで開かれました。10月の宮城県知事選挙の関係から例年よりも10日ほど早い日程となりました。

今議会には総選挙経費を含めて79億9千万円の補正予算、2016年度決算、みやぎ発展税の適用期間延長に関する県税条例の改正等の条例議案、大震災からの復旧・復興関連工事の工事請負契約議案などが提案されました。

補正予算には栗原市にある循環器呼吸器病センターの結核病棟を栗原中央病院へ移管する準備として同中央病院隣接地に新病棟を建設する経費、石巻市南浜津波復興祈念公園用地造成費、生食用カキのノロウイルス不活化試験費などが盛り込まれました。

福島第一原発トリチウム汚染水 海洋放出反対の意見書採択

5人以上の会派が行う代表質問が9月8日に行われて3人が登壇、知事の政治姿勢を問う質問などが出ました。12日からの一般質問は4日間で16人が登壇し、交通網整備、介護保険と養護老人ホーム、土砂災害対策などの政策テーマや各地域の課題が取り上げられました。

県議会召集後の7日に全国和牛能力共進会の開会式、11日に閉会式が仙台港の夢メッセみやぎで行われ、休会日であったことから多くの県議が参加しました。同共進会は和牛のオリンピックとも言われ、5年ごとに開催されるもので、宮城県でははじめての開催となります。全国39県の代表が参加し、種牛の部のオス、メスなど9分野で争われました。全般にわたって九州勢が強く各分野の最優秀賞をほとんど取りましたが、種牛の若いメスの部で宮城県登米市の小野寺正人さんが九州以外で唯一最優秀賞を獲得しました。

意見書では社民党県議団が共産党県議団とともに会派間協議に提案した「福島第一原発のトリチウム汚染水海洋放出を行わないことを求める意見書」が合意されて採択されました。

震災遺児・孤児向けの奨学金など

返済の必要のない奨学金などの制度が設けられています。

・東日本大震災みやぎ子ども育英基金の支援事業（宮城県）

未就学児 県子育て支援課 ☎ 211-2633

小学生から大学生等 県教育庁総務課

☎ 211-3611

原子力災害の広域 避難計画他で一般質問

◇原子力災害に係る広域避難計画について

女川原発周辺三十キロ以内のUPZ圏にかかる七市町は国の防災基本計画（原子力災害編）によって自治体ごとの地域防災計画（原子力災害編）に避難計画を策定することとされました。

県は避難計画策定に当たって当該市町に示したガイドラインで原子力災害と他の自然災害等との複合災害を前提として避難計画を策定するよう求めました。私は「複合災害が前提」と示した県が被害想定を示すべきだと求めました。この他に受け入れ自治体の課題へのサポート、社会福祉施設の避難先確保に対する県の支援などについて県の対応を求めました。

◇医療政策について

●県立循環器・呼吸器病センター

県は県立循環器・呼吸器病センターから栗原中央病院への機能移管と循・呼センターの閉院を決定し準備作業に入っています。機能移管により結核病棟が移行となりますが、全県的にカバーする機能であることから結核病棟が栗原中央病院に移行したとしても県の政策医療としての位置づけは維持すべきだと指摘し知事の見解を問いました。その他に職員の身分移行にかかわる課題、患者数減少に伴うセンターのあり方等を取り上げました。

●国民健康保険の県一元化

来年4月からこれまで市町村単位であった国保の財政運営が県に一元化されます。残り半年となり、市町村での準備のためには保険料、県への納付金などができるだけ早期に市町村に示すべきだと指摘しました。あわせて医療格差がある中での保険料の公平性確保、保険料増高の可能性などについて知事の見解を求めました。

◇自治体の非正規雇用

地方自治体の非正規職員の採用根拠を明確にし、常勤職員と同様に期末手当をするとされている地方公務員法・地方自治法等改正法が今年5月11日可決成立しました。今後県を含めて各自治体で条例等の整備が行われていきますが、雇い止め、フルタイムからパートタイムへの転換などが行われないよう求めました。

防災豆知識

いざという時備えておくもの

■非常食

常に食べている物や缶詰、補助栄養食品などそのまま食べられるものとインスタント食品など簡単な調理で食べられるものを組み合わせる。

■飲料水

ペットボトル入りのミネラルウォーターなど1人1日3リットルを目安に。



岸田清実のあしあと

私学助成充実の請願



私学経営者や保護者代表が中島議長に私学助成の充実を求める請願を提出し、私を含めて私学出身議員が同席しました。私は今の城南

高校（元電子工高）出身です。

消防団特別点検



太白消防団の特別点検が9月10日に行われました。藩政時代にルーツがあるはしご乗り（写真）が披露されるとともに、消防ポンプの操作など分団間の技能競争も行われました。特別点検は年に一度行われます。

医療問題研修会



国民健康保険の都道府県単位化、公立病院改革ガイドラインなどをテーマに8月26日新潟市で行われた研修会に参加しました。国保は現行の市町村単位での運営から来年4月より都道府県単位に移行になります。保険料の上昇などが懸念されており、課題について講演を受けました。

予算調整方針質疑



来年度予算編成にかかわる政府要望に対する質疑が8月28日全議員が参加する予算特別委員会で行われ、社民党県議団から私が質疑に立ちました。事故を起こした福島第一原発にかかわってトリチウム汚染水の放出反対を明確に要望するよう求めました。

建設企業委員会で北海道の豪雨被災地を調査



県議会建設企業委員会は8月8日から10日に北海道で昨年の台風10号による豪雨被災地の復旧状況や小樽市の景観行政を調査しました。8日は台風の影響で飛行機が飛ばず予定していた調査は中止となり、9日に空知郡南富良野町の堤防決壊現場で説明を受けました（写真）。空知川が南富良野町内で氾濫して130ヘクタールが浸水、特産のジャガイモ、人参に大きな被害を受けていました。

全国和牛能力共進会報告会



夢メッセみやぎを会場に9月7日～11日に行われた全国和牛能力共進会では宮城勢が健闘しましたが、9月28日共進会出品者が県議会で報告会を行いました。今回の共進会では9つの分野で最優秀賞のほとんどが九州勢で占められましたが、唯一種牛の若いメスの部で登米市の小野寺正一さん（写真中央）が最優秀賞を獲得しました。県勢は総合でも4位とこれまでの最高位に入りました。

多賀城高校など視察



県内で唯一の防災系学科ある災害科学科を持つ多賀城高校を8月18日訪問し、校長先生からカリキュラムなどの説明を受けました。災害科学科は東日本大震災の被災地として防災系の人材育成を目的に設置されたもので、先行事例が少なく、教科設定などに工夫を凝らしたことなどをお聞きしました。そのほかに貞山高校を視察しました。

退職者団体と県要望の協議



退職者の団体である高退連合は毎年県に対して介護保険や医療政策などの要望を行っていますが、今年提出する要望内容について協議しました。11月頃に要望を行う予定です。

老人ホーム敬老会



太白区四郎丸にある特別養護老人ホーム白東苑の敬老会が9月16日行われ参加しました。今年100歳

がお二人いてお祝いが渡されました。

女川原発で市民団体から県へ要請



女川原発の安全性について宮城県は独自に検討会を設置していますが、国の規制委員会審議のあとをなぞるだけになっているのではないかとの疑問から市民団体が幅広い人材による検討の深化を求める要請が出されました。提出に同席しました。

介護保険で意見交換会



介護保険関係の事業者などで作る団体が8月31日開いた意見交換会に参加し、課題などを聞きました。介護保険は来年4月に報酬改定を控えており、3年前の改定に引き続き引き下げが予想されています。事業運

営が厳しくなることが想定され、危機感が示されました。